

## パンデミックへの見えざる備え

世界エイズ・結核・マラリア対策基金 保健システム・パンデミック対策部長 馬淵俊介

私が 2022 年に世界エイズ・結核・マラリア対策基金(グローバルファンド)に入構したとき、「パンデミックへの備えと対応」は私の仕事ではありませんでした。

私は支援対象の 120 カ国の保健システム強化を担当する部門を率いるために、グローバルファンドに採用されました。(ヘルスケアの能力が高まれば、エイズ、結核、マラリアにとどまらず公衆衛生に対する数々の脅威の終息に貢献し、健康を増進させ、長期的に持続可能な保健サービスの提供につながります。) グローバルファンドは 20 年以上にわたり、保健システムとコミュニティシステムの強化に投資してきました。

しかし当時、「次のパンデミックの脅威に備える」とことと「強固にして強靱な保健システムを築く」ことは関連づけられていませんでした。

ですがそれらはつながっていたのです。

保健システムの強化が実際に将来のパンデミックの予防や備え、対応の基盤となることが分かり、双方の取り組みを統合しました。グローバルファンドは保健およびコミュニティシステムに対する無償資金を提供する最大の国際機関であり、今後 3 年間にわたって 60 億米ドル超を、低・中所得国における保健システムの強化とパンデミック対策に投資します。

次なるパンデミックの脅威に立ち向かうには、富裕国だけでなくすべての国々が、強固な保健システムを有することが必要不可欠だからです。

次のパンデミックが新たな人獣共通感染症であろうと、マラリアなどの既存感染症が従来とは違う地域で拡大しようと、薬剤耐性を得た感染症であろうと、それらが国境を超えて拡大することは明らかです。新型コロナウイルス感染症で目の当たりにした通り、私たち全員が危険にさらされます。

私の育った国である日本は、感染症の対策に集中することが、特定の感染症の脅威を阻止する以上の効果があることを実証しました。それを通じて真にユニバーサルで、強靱な保健システムが構築できるのです。

日本は1950年代初めに、当時国内最大の死因であった結核と闘うべく、全国規模で対策を展開しました。最新の科学的アプローチ、コミュニティの動員、民間セクターの参画、そして社会的に最も脆弱なコミュニティに支援を届けようという人々の努力を結集したのです。政策に草の根レベルの実体験に基づく情報を反映した、地元グループの活動による患者の発見、職場における検査の義務化など、今日の保健システムで革新的とみなされている取り組みの多くは、日本が数十年も前に先鞭をつけたものです。

日本は結核の感染者と死者数を激減させただけではありません。こうした取り組みを、強力な公衆衛生の要素を伴った、すべての人々が利用できる包括的な保健システムであるユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成するための基礎として利用したのです。日本の保健システムでは早い時期から医療介入が行われ、患者を徹底してモニターし、また最も重要な点として、誰ひとり取り残さないことを目指しています。完璧なシステムなどありませんが、日本が新型コロナ感染症の拡大を他国に比べて低く抑えられたことは、こうした取り組みがいかに強みを発揮するかを物語っています。一つの疾病との闘いに全力を挙げることで、保健システムが全体としてより強力になり、新たな脅威にも素早く対応できるようになります。

こうした考え方が有効なのは明白です。

グローバルファンドの支援対象国では、結核対策として構築した仕組みが新型コロナ感染症との闘いにフル活用されました。例えばインドネシアではヘルスワーカーが、コロナの症状を呈している患者の新型コロナウイルス感染の有無を、本来は結核検査のために設計された装置を用いて検査し、その結果は結核対策資金により建設された検査ラボで分析されました。今や多くの国々のパンデミック対策計画において、複数の疾病のスクリーニングを同時に行う統合的検査が基本方針となりつつあります。これはまた、結核のスクリーニングと検査をさらに普及させていくための鍵でもあります。個々の疾病ではなく一人の人間に焦点を当てて初めて、真のパンデミックへの備えにつながります。

インドネシアではまた、結核サーベイランスを支援するために構築された強力な健康管理情報システムでデータを収集し、コロナ患者の分布を明確に理解して、情報に基づいた予防・治療戦略をもとに対応することができました。

今週開催される世界保健総会には世界中の保健関係者が集い、パンデミック条約を検討することになりますが、今後パンデミックの予防・備え・対応の資金は既存の保健システムと疾病対策に向けた資金と統合し、効率性、持続可能性、平等性を最大化していく必要があることを、念頭に置くべきです。

それが皆にとってより健康的で安全な世界を築いていくための、唯一の道です。